

# 不燃R巾木 ソリッドラインDX

## 施工説明書

このたびは、フクビ製品「不燃R巾木 ソリッドラインDX」をお買い上げくださりまして有難うございました。  
下記の施工説明をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

施工動画はこちらから  
ご覧ください。

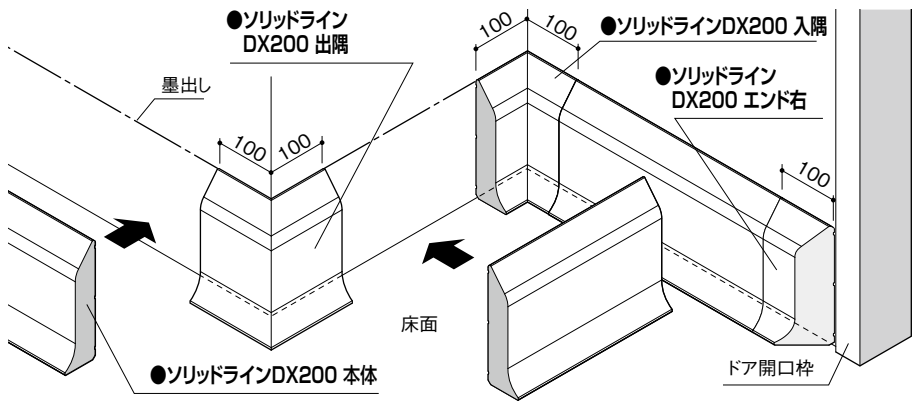


### 注意 ■設計・施工時の注意

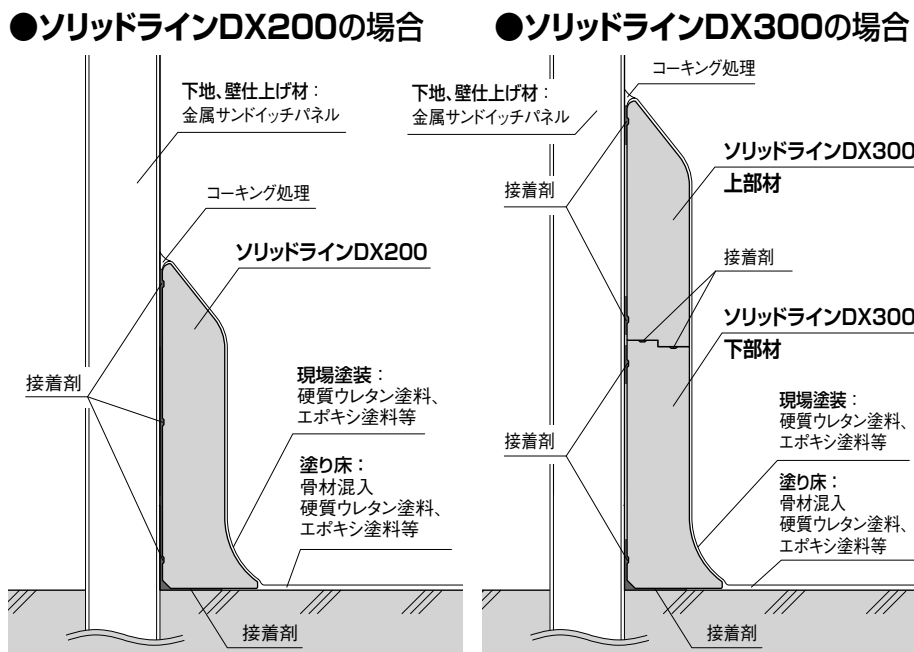
- 現場の温度が5℃以下の場合は施工しないでください。
- セメント系の材料です。割れやすいので、取り扱いに注意してください。  
長さ中央付近を両手で持って慎重にお取り扱いください。
- 本製品の在庫保管や施工時の一時保管の場合は、雨の当たらない所に平置きしてください。
- 切断時は粉塵にご注意ください。防塵マスク、安全メガネを使用してください。
- 廃棄する際は、産業廃棄物扱いとしてください。
- 塗り床はご使用になる塗料の施工要領に準拠してください。
- 冷凍庫でのご使用については、担当者にお問い合わせください。

### 製品外観図

役物(出隅・入隅・エンド部材)を先に施工の後、本体直線部施工の順で施工します。



### 参考納まり図



### 同梱部材一覧

※DX300は上下部材1組で1セットになります。

製品図	呼称	形状	規格(mm)	梱包入数
①ソリッドラインDX200 ②ソリッドラインDX300※	①ソリッドラインDX200 本体		L1,000 × W58 × H200	2本
	②ソリッドラインDX300※	上部材  下部材 	上部材: L1,000 × W58 × H150 下部材: L1,000 × W58 × H154	2セット

### 別売部材

※DX300は上下部材1組で1セットになります。

形状	呼称	規格(mm)	梱包入数
出隅 ③	③DX200 出隅	L100× W100×H200	2個/箱
	④DX200 入隅		2個/箱
入隅 ⑤	⑤DX300 出隅※	上部材: L100×W100×H150 下部材: L100×W100×H154	2セット
	⑥DX300 入隅※	上部材: L100×W100×H150 下部材: L100×W100×H154	2セット
エンド ⑦	⑦DX200 エンド左	L100× W58×H200	2個/箱
	⑧DX200 エンド右		2個/箱
⑨	⑨DX300 エンド左※	上部材: L100×W58×H150 下部材: L100×W58×H154	2セット
	⑩DX300 エンド右※	上部材: L100×W58×H150 下部材: L100×W58×H154	2セット
接着剤		シーラー	スペーサー
●浴室水廻り用接着剤 フクビボンド(333mL) 梱包: 20本入/箱 (バラ出荷対応可)		●シーラーCS-1 (200mL) 梱包: 10缶入/箱 (バラ出荷対応可)	●サッシスペーサー10 梱包: 1000個入/箱 (100個単位出荷可)
●接着剤PX2000(333mL) 梱包: 10本入/箱 (バラ出荷対応可)			サイズ: 10×50×27mm t=0.5mm

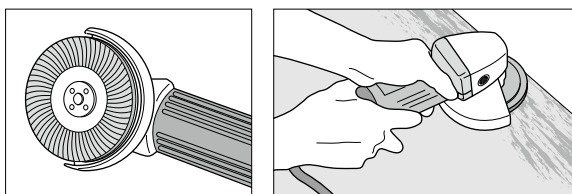
### 施工手順

#### 手順1. 床・壁の不陸を調整する

下地をサンダーで平滑にします。

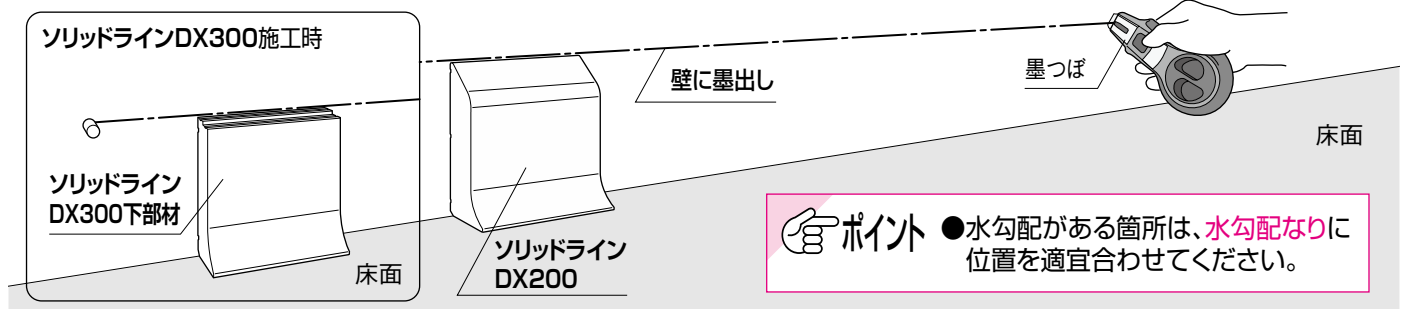
**ポイント** ●粉塵を取り除き、下地をキレイにしてください。

下地凹凸のサンダーがけ



#### 手順2. 墨出し

製品上端の高さに合わせて、壁に墨出しをします。床に不陸がある場合は、不陸が最も高い位置を基準としてください。ソリッドラインDX300施工時には下部材上端の高さを基準としてください。

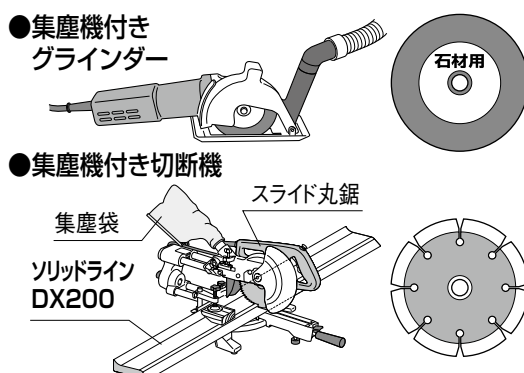


**ポイント** ●水勾配がある箇所は、水勾配なりに位置を適宜合わせてください。

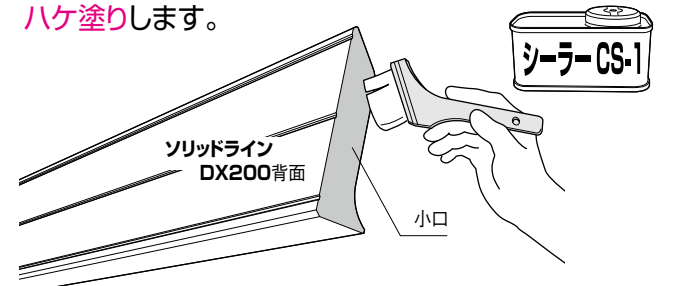
#### 手順3. 切断

- ①ソリッドラインDXをグラインダーとサイディング用刃、もしくは石材専用刃でカットしてください。
- ②長さ調整の際は入隅出隅部材、エンド部材の切断より本体の切断を優先してください。

**ポイント** ●集塵機付切断機、もしくは集塵機付グラインダーを使用してください。

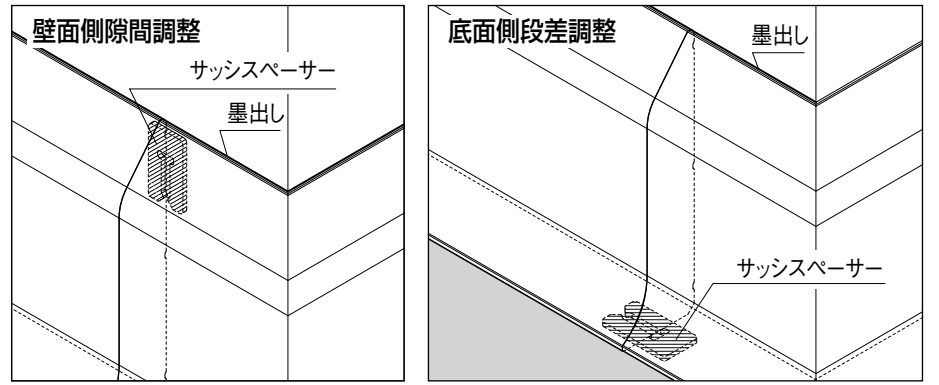


③切断面の小口にシーラーCS-1(別売部材)をハケ塗りします。



## 手順4. 本体施工位置合わせ

手順2の墨出しに合わせてソリッドラインDXを仮置きし、ジョイント部で段差ができないように施工位置を決定します。



**ポイント** ●壁と製品の隙間、床と製品の隙間が発生する場合は、くさびやスペーサーを入れて位置を固定してください。

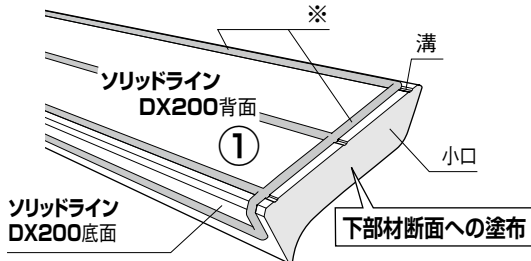
手順5. 接着剤塗布と固定 役物(出隅・入隅・エンド部材)を先に施工の後、本体直線部施工の順で施工します。

■接着剤の塗布位置について 接着剤(フクビボンドまたはPX2000)は溝に沿って盛り上がる程度を十分に塗布してください。

### ソリッドラインDX200 施工手順

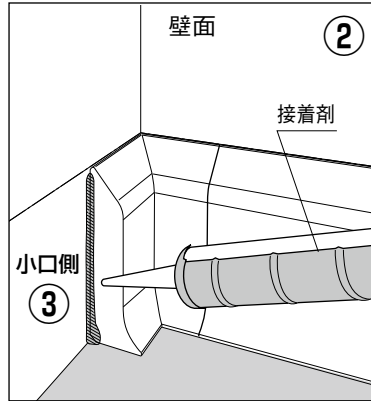
#### ●直線部・端部・役物の塗布位置

背面は溝に沿って3本、底面・端部はそれぞれ1本塗布します。



※端部全体に接着剤が行き渡り、かつ、はみ出さないように塗布してください。

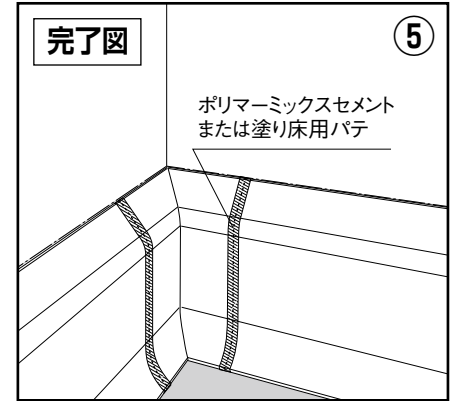
①部材の背面・底面・端部への接着剤塗布



②墨出しの位置に合わせて接着固定  
③小口側への接着剤塗布



④部材の接着固定

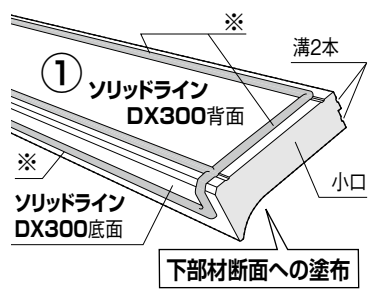


⑤ポリマーミックスセメントまたはパテでの隙間埋め

### ソリッドラインDX300 施工手順

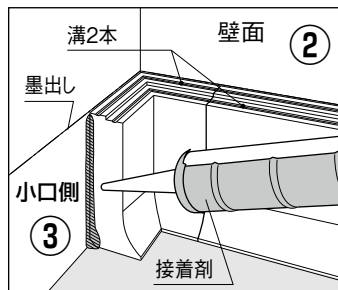
#### ●直線部・端部・役物の塗布位置

下部材背面は溝に沿って2本、底面・端部はそれぞれ1本塗布します。



※端部全体に接着剤が行き渡り、かつ、はみ出さないように塗布してください。

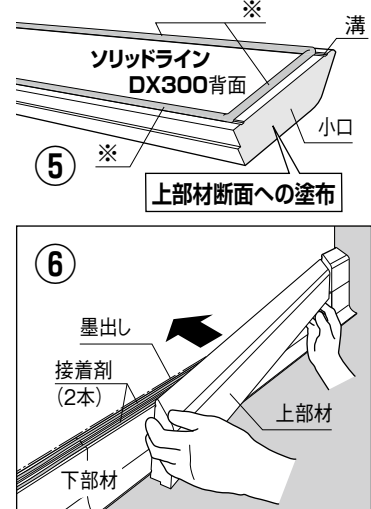
①下部材の背面・底面・端部への接着剤塗布



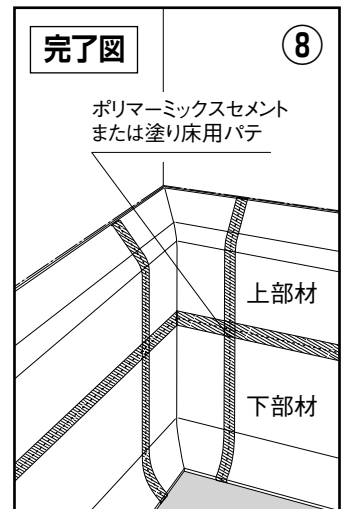
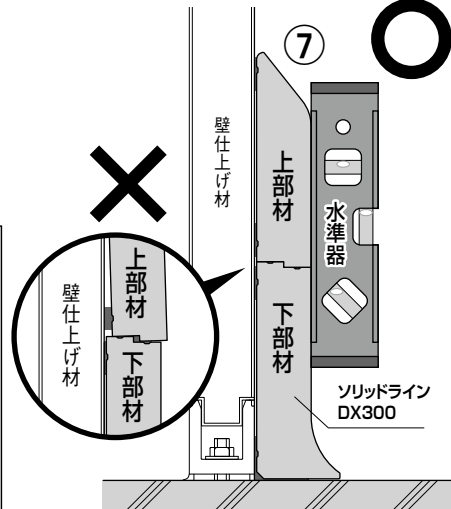
②墨出しの位置に合わせて下部材の接着固定  
③小口側への接着剤塗布  
④下部材上部溝への接着剤塗布

#### ●直線部・端部・役物の塗布位置

上部材背面は溝に沿って2本、端部はそれぞれ1本塗布します。



⑤上部材背面への接着剤塗布  
⑥上部材の嵌合・接着固定  
⑦上・下部材のズレ・段差調整

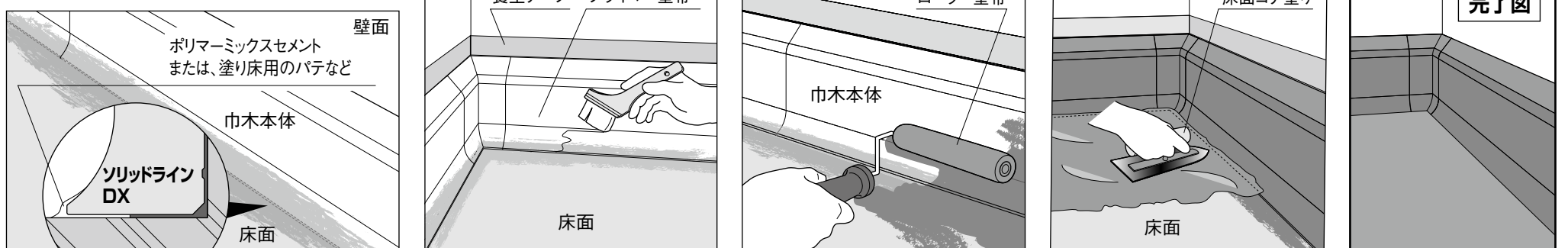


⑧ポリマーミックスセメントまたはパテでの隙間埋め

**注意** ●本製品と壁との間に隙間があると、台車等をぶつけた際に製品が割れることがあります。隙間は必ずポリマーミックスセメントまたは塗り床用のパテで埋めてください。

**ポイント** ●ジョイント部で段差ができない位置に接着してください。万一、取り合い段差が発生した場合は、ポリマーミックスセメントまたは塗り床用パテで埋めてください。

## 手順6. 塗り床施工



①ソリッドラインDXと床との隙間を埋める 巾木本体と床との隙間をポリマーミックスセメントまたはパテなどで埋めてください。

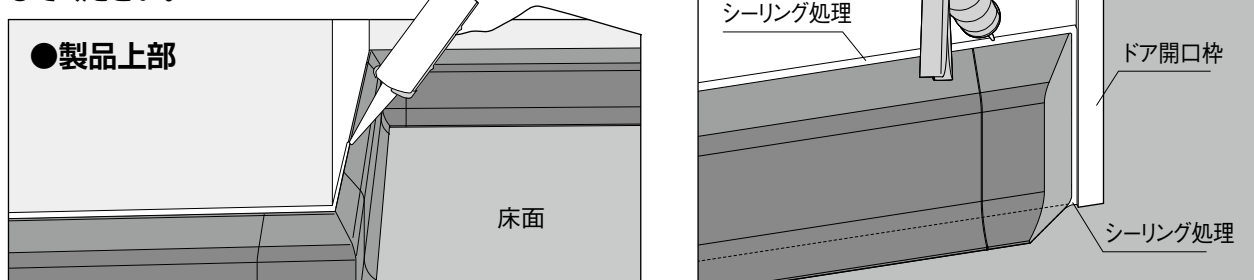
②塗り床用プライマー塗布 塗り床用のプライマーを巾木本体にローラーまたはハケで塗布します。

③ソリッドラインDXの塗り床施工 塗料を巾木本体にローラーで塗布します。

④床の塗り床施工 ③で施工した巾木本体の塗料が完全硬化後に床を塗ります。

## 手順7. シーリング処理

仕上げにシーリング処理をしてください。



**フクビ化学工業株式会社**

本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585  
 東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332  
 札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471  
 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(03)5742-6301  
 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010  
 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315 岡山 ☎(086)232-0601  
 広島 ☎(082)246-7211 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220  
 沖縄 ☎090-7383-5030

<https://www.fukuvi.co.jp>